

## 令和元年度第1回青森市地方独立行政法人評価委員会 会議概要

- **開催日時** 令和元年7月4日(木) 15:00~17:00
- **開催場所** 本庁議会棟4階 第1委員会室
- **会議次第**
  - 1 開会
  - 2 委員長職務代理者指名
  - 3 令和元年度評価実施スケジュール及び評価の実施方法について
  - 4 公立大学法人青森公立大学の平成30年度業務実績報告書について
  - 5 公立大学法人青森公立大学の第2期中期目標期間(終了時見込)業務実績報告書について
  - 6 閉会
- **出席委員** 若井委員長、藤本委員、西谷委員、佐々木委員、内山委員
- **市出席者** 小川企画部長、横内企画部理事、舘山企画調整課長、棟方企画調整課主幹、木村企画調整課主査
- **大学出席者** 八桁理事長、香取学長、森田事務長、伊藤事務局副参事、柴田事務局副参事、高野事務局主幹、木村事務局主幹

### ■ 議事要旨

#### 《1 開会》

○市：ただいまから、令和元年度第1回青森市地方独立行政法人評価委員会を始めさせていただきます。

私は本日、司会を務めさせていただきます、青森市企画調整課の棟方と申します。よろしく願いいたします。

会議に先立ちまして、まず、定足数の確認をさせていただきます。本委員会につきましては、当委員会条例第5条第2項の規定により、委員及び議事に関係のある専門委員の半数以上の出席が必要とされておりますが、5名にご出席をいただいておりますので、会議が成立しておりますことをご報告いたします。

また、本日の会議について説明いたします。平成22年度第1回の評価委員会において、大学に対してヒアリングを行う際には、非公開とすることを決定しております。

従いまして、本日の会議についても、これまでと同様に、非公開とし、後日作成する会議概要については、ホームページ上で公開しますが、大学のヒアリングに係る部分は、非公開とすることとします。

続きまして、本日ご出席の委員の皆様におかれましては、4月1日付けで委員にご就任いただいているところでありますが、初めてお揃いでありましたので、ご紹介をさせていただきます。

まずは、委員の皆様を紹介いたします。委員の若井敬一郎様でございます。続きまして、藤本幸男委員でございます。続きまして、佐々木 知彦委員でございます。続きまして、内山清委員でございます。続きまして、西谷俊広委員でございます。

次に、青森公立大学の出席者を紹介します。八桁理事長でございます。香取学長ございま

す。森田事務局長でございます。

続きまして、市の出席者を紹介いたします。企画部長の小川でございます。同じく理事の横内でございます。企画調整課長の舘山でございます。

それでは、会議に入りますが、「当委員会条例第5条第1項の規定」に基づきまして、委員長が議長となり、会議の進行を行うこととなっておりますので、若井委員長、よろしくお願いいたします。

**○委員長：**本日は、ご多忙のところ、当評価委員会の会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。当評価委員会の案件は、青森公立大学の運営に係る重要な案件でございますが、皆様のご協力をいただきながら、円滑に会議を進めて参りたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に入ります。まず、委員長の職務代理者の指名をいたします。「当委員会条例第4条第3項」の規定によりまして、「委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。」となっておりますので、私から指名させていただきます。

職務代理者は、青森県立保健大学 事務局長の藤本委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

**○藤本委員：**お受けいたします

**○委員長：**ご承諾いただけましたので、藤本委員に職務代理者にご就任いただくことに決定いたします。それでは、次に、「令和元年度の評価実施スケジュール及び評価の実施方法について」市から説明をお願いします。

**○事務局：**はい。それでは、「令和元年度評価実施スケジュール及び評価の実施方法について」説明をしたいと思います。私説明をさせていただきます、青森市企画調整課の木村でございます。座ったまま失礼いたします。それでは、スケジュール及び評価の実施方法につきまして、お手元の資料の1、資料2-1、資料2-2について順番に説明したいと思います。まず資料1、「令和元年度青森市地方独立行政法人評価委員会 評価実施スケジュール」をご覧ください。本日7月4日、第1回評価委員会でございますが、その後、青森公立大学様から、「平成30年度業務実績報告書」、「第2期中期目標期間（終了時見込）業務実績報告書(平成27年度～令和2年度)」についてご説明をいただくこととしております。説明の後に、それぞれの実績報告書につきまして、委員の皆さまからの質疑等を行っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。7月5日から7月18日まででございますが、こちらを調査・分析・評価の期間と設定しております。法人から提出された報告書について、本日の評価委員会の場を、基本的に調査・分析の場としておりますが、追加で必要な情報等ございましたら、私が各委員の皆様とやり取りをしながら、大学に確認のうえ、情報提供させていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。7月18日（木）、こちらを委員の皆様からの評価意見の提出期限とさせていただきます。委員からの評価意見といたしましては、①平成30年度業務実績評価につきまして、参考資料として添付しております、資料2-3①の様式で、②第2期中期目標期間（終了時見込）業務実績評価につきましては、添付しております、資料2-3②の様式にてメールまたはFAXにて報告をお願いいたします。また、本日の会議終了後、様式のデータにつきましては、私のほうから各委員の皆様へメールで、送信させていただ

きますので、よろしくお願ひします。7月26日(金)、同じ会場の第一委員会室におきまして、13:30から15:00に第2回評価委員会を予定しております。こちらは、委員の皆様からの意見を取りまとめまして、「平成30年度の業務実績評価書(案)」、「第2期中期目標期間(終了時見込)の業務実績評価書(案)」について、市の方でお示ししますので、それぞれの評価書案につきまして、ご審議いただきまして、評価書を決定する場として設定させていただきたいと思ひます。7月29日から8月2日までの期間につきましては、評価書の最終調整期間としております。7月26日の2回目の評価委員会において、委員の皆様から意見等ございましたら、そちらを修正したもので、再度皆様方にご提示いたしますのでよろしくお願ひします。委員会として決定したそれぞれの2本の評価書につきましては、8月9日まで、それぞれの評価書について、公立大学法人青森公立大学の通知、及び青森市への報告後、令和元年第3回青森市議会定例会の報告に合わせて、評価書を公表というスケジュールで進めて参りたいと思ひます。昨年度と比べまして、終了時見込み評価が追加となっておりますことから、さらに非常にタイトなスケジュールとなっておりますが、委員の皆様には、作業の程よろしくお願ひしたいと思ひます。続きまして、評価の実施方法について説明いたします。お手元の資料の2-1をご覧ください。公立大学法人青森公立大学の事業年度評価の実施方法についてでございます。こちらにつきましては、配布しております、参考資料2の公立大学法人青森公立大学の事業年度評価の実施要領について、その内容について図に示したものとなっております。ご説明申し上げます。左側の方が、法人による自己評価を示しております。1. 小項目別評価としまして、年度計画に定めた記載事項(小項目)ごとに、業務の実施状況について、4段階で、年度計画を上回って実施している場合はA、年度計画を十分に実施している場合はB、年度計画を十分には実施していない場合はC、年度計画を実施していないという場合はDと、4段階により自己評価をしていただいているところでございます。2. 大項目別評価でございますが、小項目別評価の結果及び特記事項の内容を踏まえまして、中期計画の①から⑦の事項ごとに、記述式により、自己評価をしていただいております。①から③については教育研究等の質の向上といたしまして、教育、研究、地域貢献の面から、④業務運営の改善及び効率化、⑤財務内容の改善、⑥自己点検・評価、情報提供、⑦その他業務運営となっております。3. 全体評価でございます。大項目別評価の結果を踏まえまして、当該事業年度における業務実績の全体につきまして、記述式により、総合的な自己評価を行っているものでございます。以上が法人による自己評価の実施方法となっております。次に右側の方をご覧ください。評価委員会による評価を示しております。1. 調査・分析でございます。こちらにつきましては、法人から提出された業務実績報告書について、第1回の評価委員会および評価の期間において、中期目標の達成状況について調査・分析するものでございます。2. 大項目別評価でございます。1の調査・分析の結果を踏まえまして、大項目ごとに、中期目標の達成状況につきまして、5段階により評価するものでございます。5が特筆すべき状況にある、4が達成している、3おおむね達成している、2やや不十分な状況にある、1著しく不十分であり、重大な改善事項がある、となっております。評価に当たりましては、お手元の資料の参考資料2の要領の2ページ目に、第4項目別評価、評価の目安ということでお示ししておりますので、実際に評価するに当たっては、こちらの要領のほうをご確認いただきながら評価のほうをお願ひしたいと思ひます。3. 全体評価でござ

います。項目別評価の結果を踏まえまして、業務実績の全体について、記述式により総合的な評価を行うということにしております。資料の2-1については説明は以上でございます。続きまして資料の2-2をご覧ください。公立大学法人青森公立大学の第2期中期目標期間（終了時見込）評価の実施方法についてでございます。こちらについては、参考資料3の公立大学法人青森公立大学中期目標期間終了時見込評価及び中期目標期間評価実施要領を図にして示したものであります。こちらについては、ただいま、資料2-1でご説明いたしました、事業年度評価と評価の仕組みに関しては基本的に同じような構成で、法人による自己評価に対して、評価委員会が評価するという仕組みとなっておりますが、異なっている点につきましては、中期目標期間の終了時見込みの評価となっていることから、先ほどは年度計画に対しての4段階評価となっているのに対しまして、今回の資料2-2につきましては、中期目標に対しての評価となっている点が、先ほどと異なっている部分でございます。そのことから、法人による自己評価の1の小項目別評価の部分が、こちらがいずれも、中期目標に対しての評価ということで4段階評価しているところになっているところでございます。その他の評価の実施方法についての説明に関しては、先ほどと重複しますので、恐れ入りますが、割愛させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上、資料1、資料2-1と2について、令和元年度評価実施スケジュール及び評価の実施方法についての説明でございます。以上でございます。

○委員長：ただいまの説明について、委員の皆様から、ご意見・ご質問はありませんか。

○委員：ありません

○委員長：それでは、次に「公立大学法人青森公立大学の平成30年度業務実績報告書について」公立大学から説明をお願いします。

★大学からのヒアリング部分は非公開です。

○委員長：ただいまの説明について、委員の皆様からご意見・ご質問はありませんか。

★質疑応答部分は非公開です。

○委員長：それでは、次に「公立大学法人青森公立大学の第2期中期目標期間（終了時見込）業務実績報告書について」公立大学から説明をお願いします。

★大学からのヒアリング部分は非公開です。

○委員長：ただいまの説明について、委員の皆様からご意見・ご質問はありませんか。

★質疑応答部分は非公開です。

○委員長：委員の皆様、大変ありがとうございました。

この後、当評価委員会において、平成30年度の業務実績評価書、第2期中期目標期間（終了時見込）業務実績評価書を作成して参りますが、委員の皆様におかれましては、本

日の公立大学からの説明や質疑を参考に評価いただきますようお願いいたします。  
それでは、事務局にお返しします。

○市:若井委員長、そして委員の皆様、長時間にわたり、ありがとうございました。

また、次回、第2回評価委員会は、7月26日(金)、午後1時30分から、今日と同じ場所で行いますので、よろしく願いいたします。これをもちまして、第1回評価委員会を終了いたします。ありがとうございました。